

「とよ・たち」美肌通信  
一周年記念号 (2011・夏)

Vol. 13



<一周年を迎えて>

昨年8月4日に開業させて頂き、今月で当クリニックは一周年を迎えました。思い起こせばこの一年間、わたしはわたしに関る全ての方々に支えられ、励まされ、時には御教示、御革便捷を賜わり、何とかやってこれたと感じております。

今、こうして存在しているのは、スタッフやこのクリニックに関わる全ての方々の支援があったことであり、又、何よりもわたしを信じて通院して下さる患者様あったのことであります。従って今後、もより一層努めなければいけないことは、

日進月歩する皮膚科学の知識と技術を怠ることなく吸収し続け、正確で適切な医療を患者様に提供し続けることを考えております。

しかしながら、まだまだ当クリニック並びにわたし院長は、人間として若輩者です。しかしそれ由に伸びしろは多いとも言えます。5年...10年...20年と

当クリニックが存在し続けられる様、わたしは  
「信頼される」から「信用される」へとステ...フ...フ  
できる医師となり、又それ以前にそうゆう人間  
でありたいと考えております。「豊郷たちがわ皮膚科  
クリニック」は今後も、「来て良かった」と感じ  
て頂けるクリニックを目指し邁進して参ります。  
あらためて今後共どうぞ宜しくお願ひ申し上  
げます。

### <プライベート>

つい先日の事。レストランで隣の席に赤ちゃん連れ  
の若夫婦がおられました。赤ちゃんはぎこちな  
いぐさで哺乳瓶を持ち飲んでいました。  
その哺乳瓶を見て私は懐しさを覚えました。  
そう言えば家にも同じ様なものがあつたのだが、  
久しく目にしておらず今はどうなっているのやら!!  
子供3人がお世話になつた哺乳瓶、いつの間  
にか見なくなつたそれ。

懐いさと同時に微笑いさを覚えたのでした。  
時が経つのは早い。もと子供と会話をしな  
ければ...と反省致しました。

### <恒例行事>

私が開院以来、日曜日を除く週6日間必ず  
行っていることがあります。

それはクリニックの玄関(風除室)に塩を盛る事  
です。なぜそんな事をしているかという理由は  
こうです。人間病気になるると体だけでなく心も萎え  
ます。その時には「気」が弱くなっています。いいえ、  
むしろ「気」が弱くなっているから、病気にかかりやす  
くなっているのです。これは漢方医学(東洋医学)の考え方  
の一つです。これ以降は私の解釈ですが、患者様  
には、その弱くなった「気」を当クリニックに吐き捨て  
ていて、ご自宅には持ち帰らないうで欲しいと思っ  
ております。その弱くなったいわば「悪い気」を、毎日私  
がせせと塩で清めます。そういったことから  
この行事を連日せせと行っている次第です。

院長 拝